



長岡京市みどりの基本計画〔改定版〕

－ 概要版 －



みどりで笑顔のまちづくり



平成 29 年 3 月

長岡京市

発行 京都府長岡京市建設交通部 公園緑地課
〒617-8501
京都府長岡京市開田 1 丁目 1 番 1 号
TEL:075-955-9716 FAX:075-951-5410
E-mail:kouenryokuchi@city.nagaokakyo.lg.jp

みどりの基本計画改定目的

本市では、平成 16 年 3 月に「長岡京市緑の基本計画」を策定し、平成 37 年を目標年として基本理念の「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」を実現するため、みどりの創出や保全活用、都市緑化の推進、市民の手によるみどりのまちづくりの施策を積極的に進めてきました。

本計画は、平成 28 年に改定前計画の目標年の中間年次を迎えたため、この間の社会情勢の変化や上位計画や関連計画の変更を踏まえ、計画策定後 10 年間の施策進捗等の課題整理を行い、改定するものです。

Point

みどりの基本計画改定のポイント

- 「緑の基本計画」目標年の中間年における施策進捗等の課題整理
- 「長岡京市第 4 次総合計画」、「第二期長岡京市都市計画マスタープラン」などの計画との整合
- 計画策定後の法令改正などの変化への対応
- 定住都市としての長岡京市のブランド力向上に向けた視点を追加

対象となるみどりとその役割

本計画で対象とする「みどり」は、緑（樹木、樹林、草花、野草等の植物）とその生育基盤となる水、土、大気、これらによって形成される環境（公園などの緑とオープンスペース、農地、河川・ため池などの水辺空間、住宅敷地の緑化空間など）を含みます。

また、みどりを守り拡充するための啓発活動や環境教育、協働によるみどりのまちづくり活動なども本計画の対象とします。

みどりの役割

- 人と自然が共生する都市環境を確保する（環境保全）
- 都市の安全性・防災性を確保する（防災）
- 多様な四季の変化が心を育み、潤いのある美しい景観を形成する（景観）
- みどりの持つ多様な機能の活用により、変化に対応した余暇空間を確保する（レクリエーション）

Point

「みどり」の使い方

「長岡京市緑の基本計画」（改定前）では「緑」を使用していましたが、樹木や草花などの植物だけではなく、公園や学校などのオープンスペース、河川・ため池などの水辺地など、より広い範囲を意味する言葉として、本計画では「みどり」を用いることとします。

みどりを取りまく現況

本市は、京都西山の東、桂川・宇治川・木津川が合流して淀川となる地点の北にあり、京都盆地の南西に位置します。総面積の約 4 割を占める西部の西山と、中央部の段丘地、そして、桂川・小畑川・小泉川によって形成された沖積平野で構成されています。

植生の大半は二次林で占められますが、西山山麓の一部には照葉樹林（シイ、カシ林）が残されており、西山山麓には広範囲に竹林が広がっています。

長岡天満宮、光明寺、乙訓寺、楊谷寺、西国街道沿いの歴史的建築物、恵解山古墳公園や細川ガラシャゆかりの勝竜寺城公園などの歴史資源が豊富で、これらとみどりが一体となり、まちを代表する観光拠点が形成されています。

また、「みどりのサポーター」による公園の清掃や植物の手入れや、小畑川における「小畑川クリーン作戦」、小泉川における「ちょぼら 30」などの河川の清掃活動など、市民らによる活動が盛んに行われています。

一人当たり公園面積は平成 15 年 4 月には 1.84 m²でしたが、平成 28 年 4 月現在 3.06 m²となっています。これは、計画策定後、恵解山古墳公園、京都縦貫自動車道の整備事業にあわせた高架下公園、西代里山公園などの整備が進んできたことによるものです。

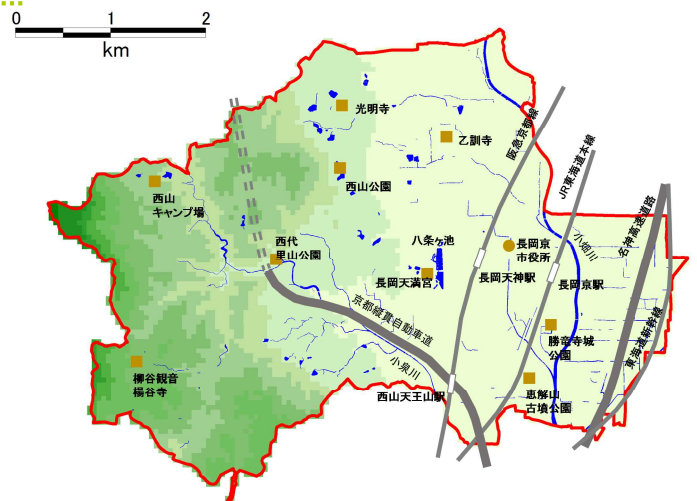


図 長岡京市のみどりの概況

表 1 人あたりの都市公園面積と市域全体の都市公園

年次	改定前計画策定時 (H15. 4)	現況 (H28. 4. 1)
都市公園 (m ² /人)	1. 84	3. 06
都市公園面積 (ha)	14. 19	24. 74

みどりのサポーター制度

市民等が市の管理する公園及び道路等の緑化及び環境美化活動にボランティアとして参画することにより、近隣地域の快適な生活環境づくりをすすめるとともに、市内全域の緑化及び環境美化に対する市民の意識を高めることを目的として平成16年10月からスタートしました。

平成28年4月1日時点で94団体、1,262名が登録しています。

New

みどりのサポーター



長岡京ガラシャ祭マスコットキャラクターお玉ちゃん

緑被の現況

現況の市内の緑被は約54%であり、前回調査時に比べて約1%減少しています。市南部の阪急電鉄西山天王山駅付近、および京都縦貫自動車道沿線で「田」の減少が見られています。

表 緑被面積の割合

区分	改定前計画策定時 H14年(%)	現況 H28年(%)
緑被	55	53.8
広・針葉樹、果樹園	32	33.0
竹林	13	11.7
田、畑地、耕作放棄地	9	7.8
草地	1	1.3
緑被以外	45	46.2

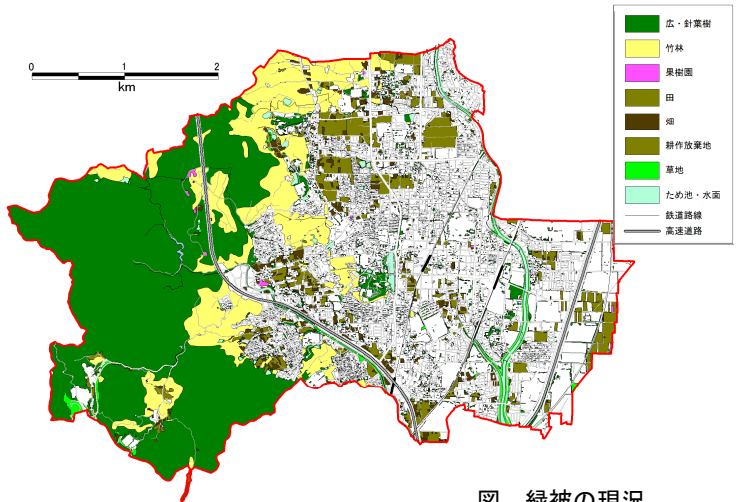


図 緑被の現況

みどりの現状と課題

Point

本市における現状と課題には以下のようなものがあります。

…現状

…課題

西山公園の整備にあたっては、社会情勢の変化に応じた計画の見直しが求められます。

歴史的資源である社寺が多くあり、社寺林は本市における重要なみどりです。

社寺境内地のみどりの縮小、社寺林の孤立化などが見られます。

西山の森の保全・整備を総合的に進めるため、市民・事業者・行政の協働による西山森林整備協議会が整備・保全活動を積極的に進めています。

西山のみどりは市民にとってのアイデンティティ・誇りとなっています。

京都縦貫自動車道建設に合わせて整備された西代里山公園は、自然とふれあえる場としての今後の活用が期待されます。

小泉川にはゲンジボタルが生息しています。

「竹」は本市の特徴的なみどりとなっています。

西山への竹林の侵入、拡大がみられ、生態系、景観、防災等への影響が懸念されます。

京都縦貫自動車道の建設に伴い整備された高架下の公園や、小泉川の遊歩道(回廊)は、今後の有効活用が期待されます。

小泉川において市民による美化活動等が継続実施されています。

市街化区域内に点在する農地(生産緑地)は減少傾向にあり、法改正の動向を見守る必要があります。

小畑川において市民による美化活動等が継続実施されています。

河川緑地、堤防遊歩道などがうまくつながっておらず、連続性の確保が課題となっています。

緑化重点地区において、総合的な緑化対策の展開を図り、まちなかのみどりを増やすことが課題となっています。

庁舎建替にあたっては緑地の確保に配慮しながら検討をする必要があります。

民有地のみどりの充実、市民・事業者による緑化活動が求められています。

「みどりのサポーター制度」など市民参加のみどりづくりが進んでいます。

まちなかにおいては公園等の緑化空間が不足しており、既存のみどりの利活用を検討する必要があります。

公園の老朽化に伴う設備更新を進める必要があります。

京都縦貫自動車道の整備に関連する公園や住宅開発に伴う公園の増加に従い、維持管理費が増大していることが課題となっています。

図 みどりの現状と課題マップ

基本理念と基本姿勢

本計画では、「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」を基本理念とします。また、計画を推進していくための基本姿勢を「みどりで笑顔のまちづくり」として、みどりを守り育てていくための仕組みやプロセスを大切にしながら各種取り組みを展開します。

市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり

みどりで笑顔のまちづくり

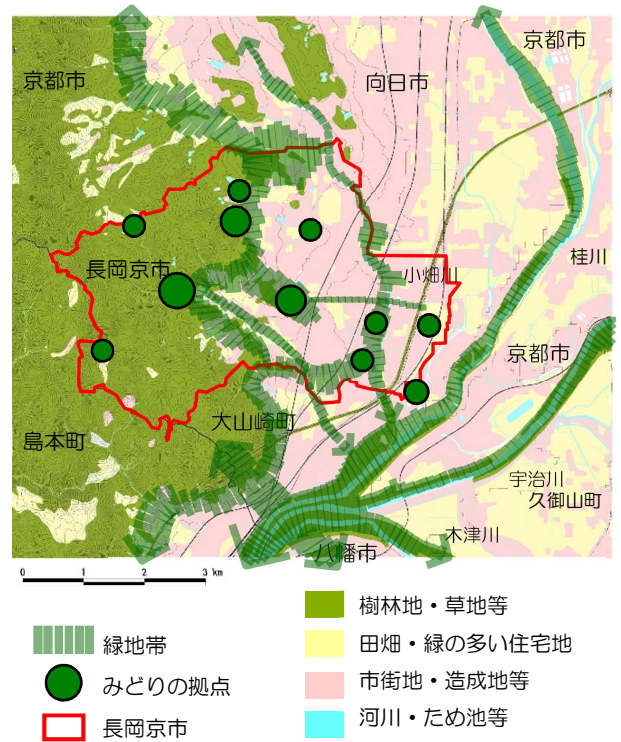
みどりを守り育てる
市民の取り組みで、
楽しいふれあいが生まれ
笑顔あふれるまちを
つくります

花やみどりが
まちへの愛着を深める
誇り高いまちをつくれます

市民と自然（みどり）が
いきいきとふれあえるまちを
つくります

将来像

広域的なみどりの連続性等を考慮し、みどりの将来像を下図のとおりとします。



計画の目標

Point

- 長岡京市第4次総合計画との整合を図るとともに、今後の都市動向を勘案し、人口フレームは80,000人と設定します。
- 緑地確保の目標水準は将来市街化区域面積に対して約30%、将来都市計画区域面積に対して約50%とします。
- 一人当たりの都市公園面積は、目標年次（H37）には4.5㎡/人を目指すとしていますが、西山公園の整備計画見直しと合わせて目標水準についても検討が必要です。
- 市内中心部の緑化重点地区における公園整備水準は1.0㎡/人とします。

表 人口フレーム及び市街地規模の設定

年次	改定前計画策定時 (H15.4)	中間年次目標 (H27)	現況 (H28.4.1)	目標年次 (H37)
全市人口（人）	77,849	85,000	80,491	80,000
市街化区域人口（人）	76,350	83,500	79,490	79,000
都市計画区域規模（ha）	1,918	1,918	1,917	1,917
市街化区域規模（ha）	960	960	958	958

※市街化区域人口のうち市街化調整区域人口は、「都市計画年報（社）都市計画協会」により、約1,000人に推計。

表 緑地の確保目標水準

目標年次における緑地の確保の目標量			
将来市街化区域面積に対する割合	概ね	290ha	30%
将来都市計画区域面積に対する割合	概ね	1,000ha	50%

表 公園緑地等の施設として整備すべき緑地の目標水準

年次	改定前計画策定時 (H15.4)	中間年次目標 (H27)	現況 (H28.4.1)	目標年次 (H37)
都市公園（㎡/人）	1.8	1.9	3.1	4.5
都市公園等（㎡/人）	10.2	11.8	11.1	14.2

表 緑化重点地区の公園整備水準と緑被率の目標水準

区分	改定前計画策定時 (H15.4)	現況 (H28)	目標 (H37)
公園整備水準（㎡/人）	0.57	0.83	1.00
緑被率（%）	10.8	9.4	15.0

計画推進のための施策

みどりの将来像の達成に向けて5つの基本方針に基づき、本市におけるみどりの適正な保全および緑化の推進を図る施策の体系を以下のとおり設定します。また、各基本方針を具体化していくための7つの主要プロジェクトをリーディングプロジェクトとして位置づけます。

基本方針1. みどりの財産の次世代への継承

- | | |
|---|--|
| <p>1 西山のみどりを守り育みます</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民・事業者・行政の協働による西山緑地の保全と維持管理の推進・ 竹林拡大防止対策の強化・ 森のレクリエーション拠点および遊歩道の整備 <p>2 小畑川一帯を市民の憩いの場とします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民参加による小畑川緑地の形成・ 連続的な河畔緑道の形成・ 沿川におけるみどりの拠点の形成および緑化の推進・ サクラ並木の形成 | <p>3 小泉川一帯を人と自然の共生空間とします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 河川緑地の魅力づくり <p>4 長岡京市を象徴するみどりを大切にします</p> <ul style="list-style-type: none">・ まちのみどりのシンボルとしての天神の森の保全と育成・ 歴史資産として重要な光明寺一帯のみどりの保全と育成・ 西山公園の基本計画見直しと長期的な整備 |
|---|--|

主要
プロジェクト

- ★西山総合保全プロジェクト
- ★小畑川緑地帯形成プロジェクト

New

基本方針2. 長岡京らしいみどりの保全・育成

- | | |
|--|---|
| <p>1 歴史を感じるみどりを活かします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 歴史を感じる公園づくり・ 社寺林等の保全と活用・ 歴史のいわれを大切にしたいみどりのPR <p>2 農地や樹林等を守り活かします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 農地の保全や機能の継承・ 農地の幅広い活用・ 山麓やまちなかの樹林等の保全・活用 | <p>3 まちなかのオープンスペースを有効に活用します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 既存のオープンスペースの公園化・ 既存の公園や広場の有効活用（市民参加による公園づくりの推進）・ 多様な市民ニーズに即した緑地の確保 <p>4 花とみどりと歴史の観光・レクリエーションネットワークを形成します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 観光・レクリエーションネットワークの形成 |
|--|---|

主要
プロジェクト

- ★みどりの公共施設プロジェクト

基本方針3. 身近なみどりづくりとネットワークの形成

- | | |
|---|---|
| <p>1 緑化重点地区においてみどりのまちづくりを展開します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 緑化重点地区の緑化推進 <p>2 まちなかにきれいな花やみどりを増やします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 企業・商店街等の緑化推進・ 住宅地の緑化推進・ 公共施設等の緑化推進 | <p>3 生き物の生息に配慮してみどりを守りつなぎます</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地形構造を活かしたみどりのネットワーク形成・ 市街地内のエコロジカルネットワークの形成 <p>4 市民の楽しい散策の道をつなぎます</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民の楽しい散策路づくり・ 都市防災に資する緑地の確保 |
|---|---|

主要
プロジェクト

- ★緑化重点地区整備プロジェクト
- ★みどりの散策路ネットワーク形成プロジェクト

基本方針4. 環境にやさしいまちづくりの推進

New

- | | |
|--|---|
| <p>1 西代里山公園を身近な自然とふれあえる場とします</p> <ul style="list-style-type: none">・ 西代里山公園の活用の推進 <p>2 環境学習の場づくりを推進します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生き物の貴重な生息環境の創出・保全 | <p>3 市内産木材資源を活用します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 西山の資源の活用システムづくりの推進 <p>4 健全な水循環づくりにみどりの機能を活用します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 健全な水循環づくりへのみどりの活用 |
|--|---|

主要
プロジェクト

- ★身近なみどりを活かすまちづくりプロジェクト

New

基本方針5. 市民・事業者・行政の協働によるみどりの輪づくり

- | | |
|---|--|
| <p>1 みどりの基本計画や市民活動をPRします</p> <ul style="list-style-type: none">・ みどりの基本計画や市民活動のPR <p>2 花やみどりを育てる市民参加の取り組みを推進します</p> <ul style="list-style-type: none">・ 花やみどりを育てる市民参加の取り組みの推進 | <p>3 みどりを守り育む協働の仕組みを整えます</p> <ul style="list-style-type: none">・ みどりを守り育む協働の仕組みの整備 |
|---|--|

主要
プロジェクト

- ★みんなで彩る花とみどりの長岡京プロジェクト

New

主要プロジェクト

主要プロジェクトは、各基本方針を具体化していくリーディングプロジェクトとして位置づけます。

1 西山総合保全プロジェクト

Point

平成17年に市民のみどりの財産である西山の多様な緑地機能の維持向上を図るため、森林所有者・地域住民・環境団体・企業・学識経験者・行政などの関係者による西山森林整備推進協議会が発足しました。この西山森林整備推進協議会と連携し、西山森林整備構想に基づき長期的かつ継続的な整備・保全を進めます。

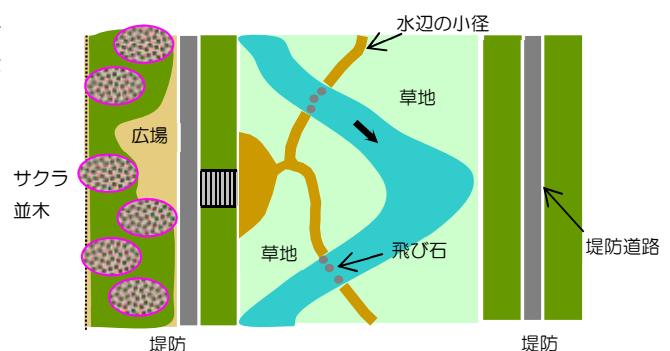
- 樹種や立地に合わせた森林整備
- シカ、イノシシの獣害対策
- 森林火災に備えた防火帯の設置
- 木竹資源の利活用
- 作業道・林道の整備
- 遊歩道や施設の整備
- 環境学習の場としての整備
- 森づくり活動の推進
- 住民への啓発活動



2 小畑川緑地帯形成プロジェクト

みどりの少ない市街地にあって、小畑川は豊かな自然とみどりを提供する水辺空間となっています。小畑川がもつ自然緑地としての機能を最大限活用すべく、市民の身近な公園としての利用を図ることを目的とします。

- 市民参加による河川緑地の形成
- 生き物の生息環境の回復
- 散策の道の連続化
- 周辺緑地等の保全と活用



3 みどりの公共施設プロジェクト

住民のコミュニティの核となっている市役所等各公共施設の緑化や、その周辺の緑地資源との連携など、地域のみどりの拠点としての機能の充実を図り、市民の身近な緑地ニーズに応えることを目的とします。

- 公共施設の緑化
- 学校敷地の緑化
- 学校グラウンドの芝生化の検討
- 周辺の緑地資源との連携



4 緑化重点地区整備プロジェクト

Point

都市公園等の緑地空間のきめ細かな配置や住宅地・商業地等における重点的な緑化施策を展開することにより、まちな顔となるみどり豊かな中心市街地（面積99ha）の形成を図ることを目的とします。

- みどりの交流拠点づくり（JR長岡京駅前）
- みどりのシンボルロードづくり
- 拠点緑化の推進
- みどりの散策路ネットワークの形成
- 多機能な都市公園の確保

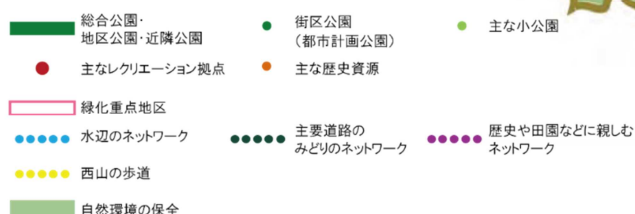
- 都市公園等(既設)
- 都市公園等(計画)
- みどりの公共施設
- みどりの散策路



5 みどりの散策路ネットワーク形成プロジェクト

身近なコミュニティ単位である小学校区を中心に、地域に分布する多様なみどり資源を掘り起こし、これらを散策路でネットワークすることで、地域の人たちのみどりに対する意識の向上、市民相互が触れあう機会の増大、地域教育や環境学習の素材提供などに資することを目指すものです。各種事業の連携あるいは市民・事業者・行政の協働で進めるものです。

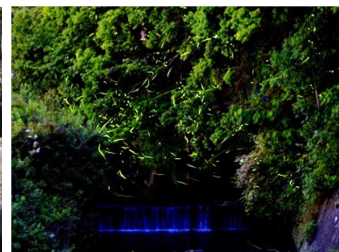
- みどりについての意識啓発
- みどり資源の保全・活用
- 沿道のみどりの創造・育成への協力
- 長岡京らしい散策路などの抽出と連携
- みどりに関する制度の活用



6 身近なみどりを活かすまちづくりプロジェクト

子どもから大人までが“環境にやさしいまちづくり”に関わることでできる機会を提供することを目的とします。その際に、生き物についてだけでなく、水循環など幅広い自然のしくみについても学習を深めていけるように後押しします。

- 市民参加による身近な環境の維持・保全活動
- ゲンジボタルの保全活動
- 多様な生き物の生息環境の保全と環境学習の推進
- 雨庭づくりの推進



7 みんなで彩る 花とみどりの長岡京プロジェクト

本市はかつて都が置かれたこともあり、今も歴史的な情緒の中で四季折々の美しい花や樹木を楽しむことができるまちとなっています。本プロジェクトにおいては、「みどりのサポーター制度」などを活用し、市民・事業者・行政の協働によって市域を四季の花々やみどりで彩る活動を推進します。本プロジェクトを通じ、本市を訪れる人や市民にとって住みたい、住み続けたいと思われるような魅力あふれるまちづくりを目指します。

- 「みどりのサポーター制度」の活用による緑化活動の推進
- 花とみどりのネットワークづくりの推進
- プロジェクトのPR

